

令和 5 年度 学校評価（共通項目）評価書

和光市立 大和中 学校

柱	N.º	評価項目	自己評価	自己評価の説明 及び学校の考え	関係者 評価	学校関係者評価の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて 全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	学校教育目標を全教職員で意識し、様々な教育活動を実践できている。取組を工夫していくことが課題。	A	先生方が学校教育目標のもと、様々な場面で一生懸命に取り組む姿がみられる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	実際の災害時に対応する危機管理を持ち、体制を共通認識していく必要がある。	A	生徒は安全・安心な学校生活を送っている。放課後は保護者の責任である。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	新学習指導要領を意識した授業改革を今以上に進めていく必要がある。	B	先生方の達成度が高まるような実践の工夫が必要である。
	4	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	B	先生が教える授業から生徒が考える授業への転換を具体的な実践を通して進めていく必要がある。	B	指導方法の改善に向け、さらに基礎学力の定着を図り、生徒に自信をつけさせてほしい。
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	B	年度当初をはじめ、定期的な全職員で共通認識を図り、教師による指導に差異の無いように努めていく。	B	どの学級でも落ち着いて授業を受ける様子が見られる。
規律ある態度育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身につけている。	B	配慮を要する生徒に対し、スモールステップで中・長期的な目標を設定し組織的な対応をしていく。	B	地域でも校内のように過ごせると良い。家庭と共に地域での過ごし方を指導してほしい。
	7	学校は児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	B	教職員自ら規範意識を高めて、生徒の範となり、よりよい信頼関係の構築に努めていく。	A	生徒の気持ちのよい挨拶や、チャイムが鳴る前に静かに座って待つなど素晴らしい態度である。
健康・体力向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	意欲的に取り組む生徒との2極化がみられ、意欲的に取り組もうとする、動機付けが必要である。	B	昼休みに校庭で遊ぶ生徒が増えるような意識付けや働きかけを工夫してほしい。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	コロナ禍や部活動時間の減少等の影響もあり、体力は落ちている。	B	実績を残している先生方の取組を他の教員にも広めていくと良い。
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	B	学校運営協議会を活用するとともに、開かれた学校を目指し、地域・生徒・教師の連携を深める。	A	保護者アンケートの結果を分析し、意見要望等も保護者へフィードバックすることで連携が深まる。

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入